

北秋田市 **学校給食で桃豚堪能** 地元企業が提供



給食を味わう清鷹小の児童

「ポークランドグループ」（小坂町、豊下勝彦代表）が生産した豚肉を使ったオリジナル給食が、北秋田市内の小中学校と義務教育学校、特別支援学校計 11 校で提供され、児童生徒が味わった。

ポークランドグループは 2022 年、市の誘致企業として七日市に養豚農場を開設。グループ企業の「ノースランド」が運営

し、年間約 2 万 5 千頭の豚を出荷している。

地元産豚肉の魅力を子どもたちに知ってもらおうと、ポークランドグループが銘柄豚「桃豚」約 100 キロを市に提供した。

給食では肉と生野菜をマヨネーズで味付けした「シシリアンライス」に使われた。清鷹小学校では 19 日、117 人の児童が盛り上がりながら給食を盛り付け。4 年生の教室では「いただきます」と声をそろえ、豊下代表と一緒に給食を味わった。「おいしい」「おかわりしたい」と談笑を楽しみながら食事を楽しんだ。

豊下代表（63）は「地産地消について知ってもらおうと提供した。安全安心な豚肉を味わい、地元の食材に関心と誇りを持ってもらえたらうれしい」と話した。

4 年の成田來禾さん（10）は「豚肉の甘みと野菜がとっても良く合っていて、おいしかった。家でも桃豚を食べたい」と笑顔を見せた。

（石塚佳治）（令和 6 年 1 1 月 2 1 日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）